

## 環境科学分科会（第25期・第5回・議事要旨）

■日 時：令和4年10月22日（金）13:00～15:00

■会 場：遠隔会議

■出席者：（敬称略）

北川、所、阿尻、大河内、大政、小崎、桑野、後藤、谷、恒川、藤岡恵子、藤岡沙都子、真木、宮崎、安田、山本、和田

■欠席者：（敬称略）辻、野田、花木、平尾、吉田

■配布資料：

資料1：各WG活動の報告

資料2：公開シンポジウム主催提案書

「カーボンニュートラルを推進する熱エネルギー利用の新展開（仮）」

参考資料1：第25期第3回環境科学分科会議事要旨

参考資料2：第25期第3回環境科学分科会議事メモ

参考資料3：第25期第4回環境科学分科会議事要旨

■議 題：

### (1) 前回議事要旨確認

参考資料1, 2, 3について確認がなされた。

### (3) 公開シンポジウムの報告と次の企画について

- ・藤岡（沙）委員から公開シンポジウム「みんなで考えるカーボンニュートラルと化学」について、資料1-1をもとに報告がなされた。
- ・谷委員から公開シンポジウム「東南アジアのアブラヤシプランテーションの持続的開発の問題点と課題」について報告がなされた。
- ・藤岡（恵）委員から「カーボンニュートラルを推進する熱エネルギー利用の新展開（仮）」について提案があり、資料2にもとづいて説明がなされた。提案内容が概ね認められ、日程調整等を進めることになった。
- ・都市（コンパクトシティ・都市農業）のWGからは、テーマが多岐にわたっているため、シンポジウムにまとめるのは難しいとの報告がなされた。

### (2) ワーキンググループの活動報告について

- ・都市（コンパクトシティ・都市農業）WG 世話人の山本委員から、資料 1-3 に基づいて活動報告がなされた。6 名の委員が話題提供をする研究会を開催し、議論を重ねた。グループ内の活動と議論の成果を記録としてまとめたいという希望が出された。
- ・エネルギーWG と生産技術・社会 WG の活動について、藤岡（沙）委員が資料 1-1 に基づいて報告した。

#### (4) 意思の表出（本分科会の活動報告の作成）について

- ・北川委員長より分科会の活動を記録にまとめることが提案された。さらに、エネルギーWG と生産技術・社会 WG が実施しているシンポジウムにおける「市民との対話」の手法が確立しつつあるため、この手法について見解として提出することが提案された。
- ・シンポジウムの様子について、藤岡（沙）委員から資料 1-2 をもとに報告がなされた。
- ・見解の提出については、関係者での打ち合わせを行うことになった。
- ・北川委員長から記録の目次案が示され、1.初めに、2.各 WG の活動、3.シンポジウム開催、4.まとめ、の構成で、各 WG が 5 ページずつで全 40 ページ、もしくは各 WG が 2,3 ページずつで全 20～30 ページというイメージが共有された。
- ・意見交換の後に記録作成について採決を行い、過半数の賛成を得て提案が認められた。
- ・各 WG の活動の記載の仕方について、形式を合わせた方が良いので、世話役で別途打ち合わせをすることとした。

#### (5)その他

- ・会議の内容全体について、意見交換がなされた。

以上